操作手順

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。

操作手順の動画はこちら

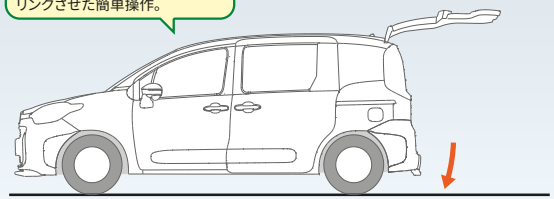
※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。 [参考]写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

2列目乗車

■車高降下を行う場合は、必ず下記の状態にしてください。
●エンジンをかけた状態〈ハイブリッドシステムを作動状態〉で車両を停止させる。 ●パーキングブレーキをかける。 ●シフトレバーを「P」位置にする。

1 後部の車高を下げる

POINT
バックドアの開閉と車高の昇降をリンクさせた簡単操作。



POINT
「エアサスペンション」による、ゆるやかな車高降下。

①車いす乗車の前に助手席側セカンドシートを折りたたんでください。
（「助手席側セカンドシート付」の場合）

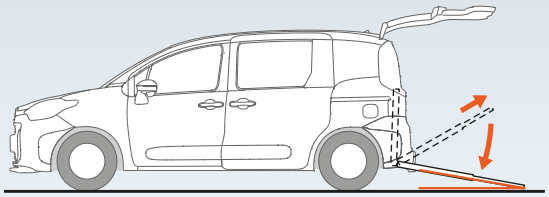
②バックドアを開けると自動的に車高が下がり、セーフティベルトがフリーモードになります（連動モード時）。
（車高は下がりきると自動停止します）

車高切替スイッチ
※車高切替スイッチを使って車高を下げることもできます。

各スイッチの取付け位置

❶車高切替スイッチ
❷固定・解除スイッチ

2 乗り込みの準備をする



POINT
なだらかなスロープ角度（9.5°）。

③スロープが前倒れ状態になっている場合は垂直に起こします。スロープを支えながら、ロック解除レバーを引き上げてロックを解除し、スロープの取っ手を持って車外へ最後まで引き出します。

※スロープは二重になって格納されています。

ロック解除レバー

④フリー状態になっているセーフティベルトを引き出し、フックを車いすのキャスター上部（左右2か所）に掛けます。

※セーフティベルトは、乗車の際に車いすの後退を防ぎます。
（電動で車いすを引き上げることはできません）

※車いすの種類や運転席側セカンドシートの使用状況に応じて、セーフティベルトガイドをご使用ください。 詳しくはセーフティベルトガイドの使い方をご覧ください。

POINT
セーフティベルト仮置きスペース（後側）：
車いすを乗り入れるときに、車内に入らずベルト・フックを取り出すことができるバンドを装備。

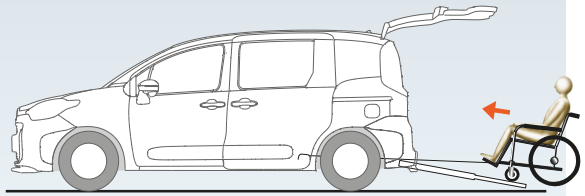
操作手順

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。

操作手順の動画はこちら

※写真は乗り込み時の手順を説明しています。降りられる場合は基本的に逆の手順になりますが、一部手順が異なる場合があります。 [参考]写真の車いす乗車モデルの身長は150cmです。

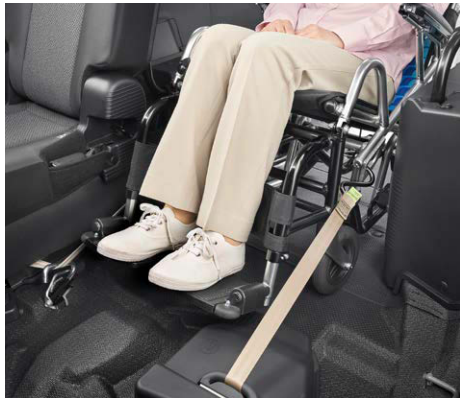
3 車いす乗車のまま車内に乗り入れる



⑤ゆっくりと車内に乗り入れます。

POINT
セーフティベルトに巻き取り機能を装備。ベルトのたるみを防ぎます。

POINT
セーフティベルトは自動的に後退防止モードになります。

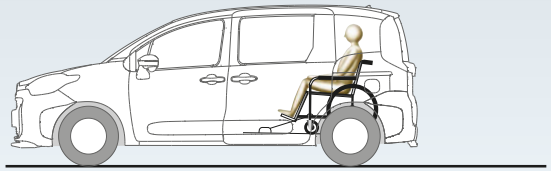


⑥車いすの後輪中央を床面の車いす停止線に合わせ停止します。セーフティベルトにより、車いすの前側が固定されます。

※床面の車いす停止線は2本あります。車いすの種類により固定位置が異なります。詳しくはセーフティベルトガイドの使い方をご覧ください。

4 車いすを車内に固定する

POINT
介助の方が車いす乗車の方の隣に同乗できるので安心です。



⑦車いすのブレーキをかけます。その後、後側の車いす固定装置(電動)のフックを取り出し、車いすの後部フレーム(左右2か所)に掛け、車いす固定スイッチを押して車いすを固定します。

固定・解除スイッチ

POINT
スイッチひとつで車いすを電動でしっかり固定。

⑧車いす用シートベルトを着用します。スロープを格納し、バックドアを閉めると自動的に車高復帰します(連動モード時)。
(車高は上がりきると自動停止します)

※車高切替スイッチを使って車高を復帰することもできます。
※必要に応じてシートベルトリルータをご使用ください。

POINT
車いす用シートベルトバックルが自立するので、片手で脱着が可能です。

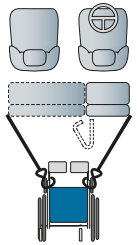
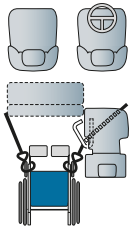
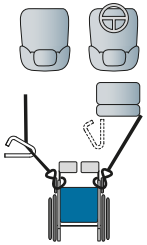
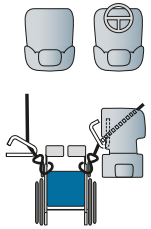
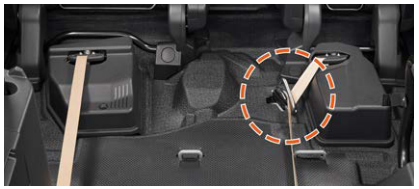
車高復帰

乗降が終わり、再び車両を動かす前に、必ず車高を復帰させてください。

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーを「P」レンジ以外へ操作した時点で「車高復帰忘れ防止機能」が働き、車高を自動復帰させます。

セーフティベルトガイドの使い方

車いすの種類と運転席側セカンドシートの使用状況によって、セーフティベルトガイドを下記のようにお使いください。タイプⅠ・タイプⅢは中央に1か所、タイプⅡは左側と中央の2か所に設置。

ガイドの使い方	タイプⅠ・タイプⅢ		タイプⅡ	
				
	運転席側セカンドシートを使用しない場合 ↓ **セーフティベルトガイドは使用しません**	運転席側セカンドシートを使用する場合 ↓ **セーフティベルトガイドを起こして使用してください**	運転席側セカンドシートを使用しない場合 ↓ **左側のセーフティベルトガイドを起こして使用してください**	運転席側セカンドシートを使用する場合 ↓ **両側のセーフティベルトガイドを起こして使用してください**
				

※写真はセーフティベルトガイドの機能を説明するため、セカンドシートをタンブル状態にしています。